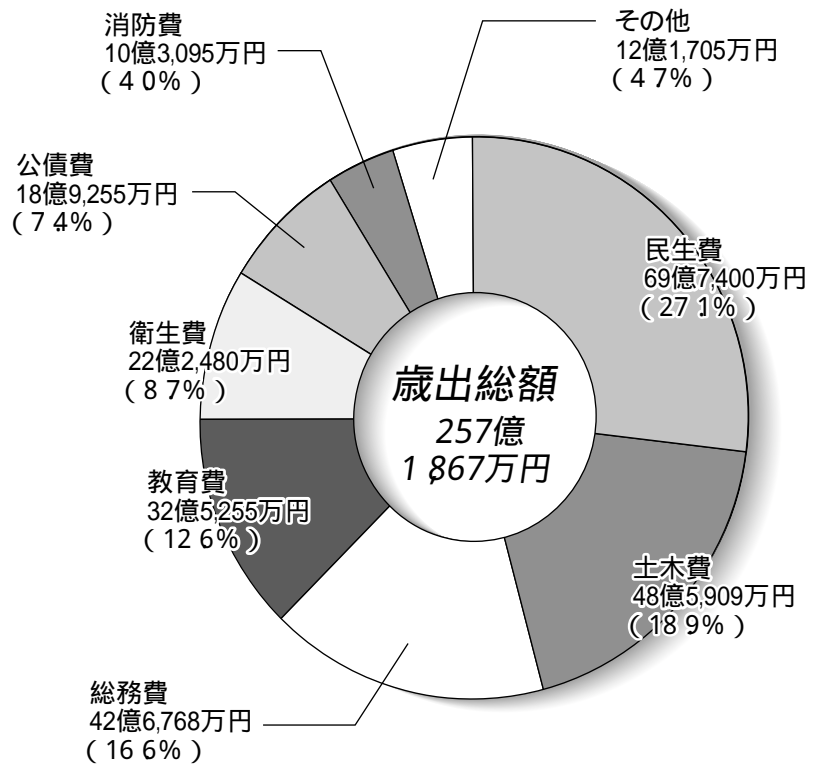
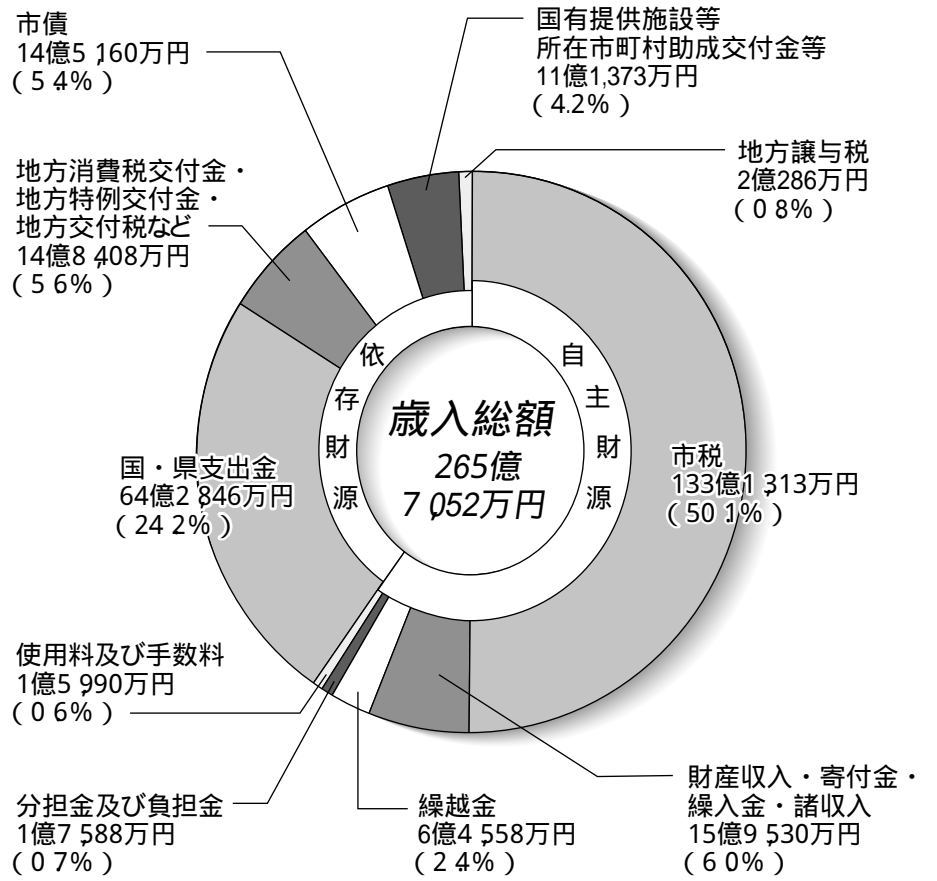


一般会計決算歳入・歳出の状況



平成21年度各会計の決算規模

| 会計名 | 歳入 | | 歳出 | |
|----------------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 決算額 | 伸率 | 決算額 | 伸率 |
| 一般会計 | 265億7,052万円 | 8.1% | 257億1,867万円 | 7.5% |
| 国民健康保険事業 | 85億4,470万円 | 3.5% | 85億4,887万円 | 3.4% |
| 老人保健医療事業 | 4,292万円 | 88.6% | 4,280万円 | 87.2% |
| 下水道事業 | 40億104万円 | 1.5% | 39億9,104万円 | 1.5% |
| 深谷中央特定土地区画整理事業 | 9億2,363万円 | 33.3% | 9億1,363万円 | 20.2% |
| 介護保険事業 | 26億6,585万円 | 6.0% | 26億3,294万円 | 8.3% |
| 後期高齢者医療事業 | 5億1,077万円 | 5.8% | 5億519万円 | 5.2% |
| 計 | 167億891万円 | 2.2% | 166億3,447万円 | 0.4% |
| 合計 | 432億7,943万円 | 3.9% | 423億5,314万円 | 4.2% |

市政に対する一般質問

高齢者見守り体制の充実と救急医療情報キット導入を

公明党 井上賢二

問 全国各地で100歳以上の高齢者の所在不明が問題となっているが、本市の実態はどうか。今回の問題をきっかけにひとり暮らし高齢者の

見守り体制の見直しが必要と考えるがどうか。また、昨年9月定例会の一般質問で、医療情報などをまとめて自宅の冷蔵庫に保管し救急時の備えとする、救急医療情報キット導入を提案したが、市は、ひ

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。9月定例会では、9月16日・17日の本会議で15人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6ページまで続きます)。

ひとり暮らし高齢者を手始めに普及啓発できるよう検討していくと述べた。近隣市では、すでに実施、または実施に向けて動いており、本市でも早期の導入を望むが、実施時期はいつ頃を予定しているか。

また、地域の方との接触を拒否される方もいることから、広報あやせ配布時に異常に気付いた場合、即座に市が訪問する事業を開始するなど、今後とも安否確認に積極的に取り組む。救急医療情報キットは、導入に向け「新時代あやせプラン21」実施計画に経費を盛り込んだ。できるだけ早期の実施を目指していく。(ほかに「豪雨災害について」「公用車の貸し出しについて」を質問)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮せる施策展開を

安藤多恵子

問 本市の高齢化率は20.17%だが、36%を超えている地域もある。住み慣れた地域で安心して暮らすため、早急かつ充実した対策が求められる数字である。医療や介護な

どを在宅で総合的に受けることのできる地域包括ケアに対する市の考えは。介護保険法改正で、地域密着型サービスとして、小規模多機能型居宅介護や夜間対応型訪問介護が創設されたが本市の状況は。今後、地域福祉推進のためには、地区社協の存在は大きく、活動拠点が必要であると考えられる。深谷大上ふれあいの家のような施設の使用形態を各地域に展開する考えはないか。

8月、寺尾地区に開設されたが、夜間対応型訪問介護事業所はない。今後も、地域密着型サービスを事業者の誘導、整備を図っていく。深谷大上ふれあいの家は、地域活動の拠点施設として建設した。今後は既存の公共施設の位置づけや利用の実態などを調べ、展開の方法を検討していきたい。(ほかに「中小企業振興に向けて」を質問)



市の花 ばら